

令和5(2023)年度事業報告

公益社団法人日本炊飯協会

はじめに

新型コロナウイルスは、2023年5月から感染法上の5類に移行し、中食・外食も回復してきており、売上げは戻ってきています。しかしながら、原材料、諸経費の高騰は円安の進行を受け昨年よりさらに厳しさが増しています。その上、米価高騰が進む中、価格転嫁はスムーズとは言えず、炊飯業界の厳しい状況は続いています。

一方、協会の事業として、①炊飯HACCP認定、②ごはんソムリエ認定③災害時緊急支援など社会貢献度の高い公益目的事業を展開しております。

今後とも事業の更なる充実をはかる所存ですので、関係各位のご協力を宜しくお願い申し上げます。以上

2023年度事業計画に基づき、下記の通り事業を展開した。

理事会

*第1回理事会：2023年4月25日、(公社)日本惣菜協会会議室にて理事会を開催した。

2022年度の事業報告、収支決算報告を行った後、理事改選期であり、山下幸子理事を除き新たに山東昭子氏と水野葉子氏を理事に加えた理事16名と現監事2名を、総会に推薦することを提案し、これを議場に諮り満場異議なく可決承認した。

HACCP法の6月失効にともない、新たに作成した、炊飯HACCP認定基準、ハイスペック設備基準、炊飯HACCP認定業務規程の説明し、議場に諮り満場異議なく可決承認した。資料の説明とともに業務執行状況について説明を行った後、炊飯業界の状況等について意見交換を行った。

*総会時理事会：2023年6月7日、東京ガーデンパレス2階ロビーホールにて理事会を開催し、代表理事・会長：千田法久、副会長：中村勝浩、山口大輔、齋藤壽保、専務理事：三橋昌幸を選定した。

*第2回理事会：2023年12月5日、(公社)日本惣菜協会会議室にて理事会を開催した。

2023年度の業務執行状況及び収支の中間報告を行い、2024年度の事業計画と収支予算について説明を行い、これを議場に諮ったところ満場異議なく可決承認した。

ごはんソムリエ認定試験受験料の改定を説明の後、議場に諮ったところ満場異議なく可決承認した。

第19回ごはんソムリエ認定試験の報告、品質管理向上に向けた意見交換会と地域分科会に向けた取組方針のほか、業務執行状況について説明を行い、意見交換を行った。

総会

*2023年6月7日に東京ガーデンパレス「天空」にて通常総会を開催した。議長、専務理事より業務執行状況及び2022年度の事業報告と収支決算報告があり承認可決した。について諮り、承認可決した。理事・監事の改選期にあたり、山下幸子理事を除き、新たに山東昭子氏と水野葉子氏を理事に加えた理事16名と現監事2名について諮り、承認可決した。総会時理事会で、新会長に千田法久、新副会長に齋藤壽保、理事・顧問に、坂田文男が互選されたことを報告した。総会後、懇親会を開催した。

*2024年1月18日、コートヤード・マリオット銀座東武ホテル「さくらの間」にて、臨時総会を開催した。議長、専務理事より2023年度の業務執行状況及び収支の中間報告及び、2024年度の事業計画と収支予算について説明を行い、議場に諮ったところ満場異議なく可決承認した。第19回ごはんソムリエ認定試験の報告、品質管理向上に向けた意見交換会と地域分科会への取組方針について説明・報告を行った。総会後に懇親会を開催した。

《各事業報告》

1. 炊飯 HACCP 認定

炊飯 HACCP 認定は、2 社 (JA 全農ラドファ(株)、(株)三ツ和) に対して行った。累計炊飯 HACCP 認定件数は 124 となった。

2. 炊飯 HACCP 更新監査

2023 年度の HACCP 更新監査は 83 (炊飯 70、米飯加工品 13) 実施し、HACCP 審査委員会で認定承認を得た。

3. 米飯品位格付認定事業<ごはんランキング>

2023 年 6 月 14 日 7 工場

2023 年 10 月 17 日 8 工場

2024 年 2 月 14 日 8 工場

食味官能検査は(株)ミツハシ、精米分析は(株)川島屋の協力を得て、年間 3 回実施し、延べ 23 工場が参加した。

4. 食品衛生推進事業 (斡旋物資)

斡旋物資の価格アップが続きアップ前の購入もあり、前年より若干伸びた。

5. 研修指導事業

炊飯 HACCP 認定を行った 2 社に事前アドバイスを行なった。また会員外からの問い合わせには電話にて対応した。その他 HACCP 審査員が年 1 回の更新監査で工場を訪問した際には、衛生管理向上のため一般的衛生管理を中心とした、指導助言を行った。

6. ごはんソムリエ認定事業

第 19 回の「ごはんソムリエ認定試験」は、2023 年 11 月 21 日と 22 日に開催した。

当協会会員の他、農業者、米穀店、学生、行政機関等 30 の都道府県と韓国からの応募があり受験者は 134 名あり、ごはんソムリエ認定者は 2,140 名となった。

7. 広聴広報事業

①「ごはんでサポートキャンペーン」は、依然自粛ムードが続いている、取り組みは 8 件となった。

②『ごはんタイムス』を、7 月・11 月・3 月の 3 回発行し、会員に配布すると共に、会員外約 350 の炊飯業者、ごはんソムリエ認定者、図書館 40 に贈呈配布した。

③「八戸の食中毒事件」の速報及び厚労省の報告、炊飯 HACCP 認定ロゴ取扱い説明等、通知文書を作成し各会員に配布した。

また食品業界関連の記事を情報ファイルとしてまとめ、毎月 1 回会員へ発送した。

8. 会員

2023 年度入会はなく、2024 年 3 月 31 日現在正会員 66 社・賛助会員 27 社である。

9. 国産米使用推進団体協議会

2023 年度は、国産米の消費拡大をテーマに、農水省と 2 回意見交換を行った。

加盟団体

(公社)日本べんとう振興協会、(公社)日本炊飯協会、(一社)日本惣菜協会、

(一社)日本弁当サービス協会、全国米穀工業協同組合、(株)加工用米取引センター

特別顧問(役員)高木勇樹氏(元農水省事務次官)

その他

【他団体等セミナーへの参加等】

(財)食品産業センター連絡協議会月例会議に参加等他団体等主催による各種講演会に、積極的に受講参加し情報収集等を行った。炊飯量市場規模実態調査は、毎年年間の炊飯数量の調査を行っている。2024 年 3 月末に緊急連絡先一覧表を更新し各会員に送付した。

以上